

危機に立つ世界と日本

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

理事長 五百旗頭 真

はじめに

コロナ、ウクライナ、地震、豪雨、気候変動・・・さまざまな脅威が人間の生存に迫る時代を生きるには・・・

1 プーチンのウクライナ侵攻

- (1) 冷戦敗北後のロシアの失権／ロシア史再興の試み
- (2) 「力」の政治時代の手法 (cf 満州事変)、KGBの訓練
- (3) 20 世紀の二つの大戦後の不完全な国際秩序＝国連体制
－その打破は「ジャングルの掟」への回帰を意味するのか

2 二つの戦線

- (1) 戦場の実績を越える方式？ (cf フィンランド)
- (2) 米欧日による厳しい経済制裁－どちらが音をあげるか？

3 ロシアと中国の連動？

- (1) 1930 年代－日独の連動による第二次世界大戦
- (2) 中国は連動をとりあえず回避し、対米関係を検討
－秋の党大会前の緊迫
- (3) 台湾や尖閣への力の行使は－第三次世界大戦への道？

4 日本の外交・安全保障

- (1) 近隣の現状打破諸国－かつてないリアルな危険
- (2) 巨大な軍事力較差にどう備えるか
- (3) 日米同盟－リスク要因としてのアメリカ政治
- (4) 経済社会の再強化

おわりに

- ・ 2023 年 5 月、G7 広島サミットの意義
- ・ ウクライナ戦争終結の条件